

COP17 へのブース出展結果報告

2011年12月13日

社団法人海外環境協力センター（OECC）は、2011年11月28日～12月9日に南アフリカ・ダーバンで開催された国連気候変動枠組み条約第17回締約国会議（COP17）においてブース出展し、日本政府による二国間メカニズムを通じた取り組みや、新メカニズム情報プラットフォーム、新メカ Express 等による情報提供サービスについて紹介を行いました。期間中の来客数は250名近くに達し、活発な意見交換が行われました。本結果報告ではそのなかでも特に多く寄せられた意見・質問を中心にとまとめております。



来客者からの意見・質問

- 二国間メカニズム
 - 日本の二国間メカニズムに興味があるが、参加方法がわからない（ブラジル・エネルギー関連企業 CEO、マダガスカル・エネルギー省担当官、南アフリカ、クウェート、ケニア関係者等、多数から同様の質問が寄せられた）
 - 技術移転と二国間メカニズムの関係について知りたい（アンゴラ政府担当官、他）
 - CDM との違いについて知りたい（各国のメディア関係者、他）
 - これまでどんなプロジェクトが実施されたのか？
 - 事業実施前調査（FS）後の日本政府の支援策は？
 - これまで CDM で実施されてこなかった交通分野などにおける取組が期待できる
 - コンゴが FS 支援を受けるにはどういった手続きが必要か？（コンゴ NGO 関係者）
 - 二国間メカニズムの方法論について。水処理分野の方法論は開発できるか？
 - アフリカ、中東、カリブ諸国でも実施可能か？

- クレジットの取り扱いは？

- コベネフィット
 - コベネフィットとは、経済的コベネフィットを指しているのか？
 - 大気汚染問題と気候変動問題への対処法の両立について

- AP セミナー
 - キャパビルについてどんなプログラムを開催したか？
 - AP セミナーは来年、どこで開催するのか？

以上